

令和7年度(上半期) 地域における男女共同参画の推進について

市においては、「第2次 越前市男女共同参画プラン」が策定され、地域における男女共同参画の推進に関する項目として、自治振興会の女性役員の参画・防災組織への女性の参画について、数値目標が設定されています。

自治振興会の女性役員の参画については、令和8年度末までに30.0%と数値目標を設定しており、令和6年度の実績は20.2%で、昨年度末13.6%より6.6ポイント上がっています。防災組織への女性の参画については、令和8年度末までに110人と数値目標を設定しており、令和6年度の実績は97人で、昨年度末93人より4人増加しています。

男女共同参画意識の醸成は着実に進んできました。しかし、第2次越前市男女共同参画プラン市民意識調査において、固定的な性別役割分担意識がまだまだ根強く残っているという結果となっています。そのため、男女が互いに優れた個性を認め合い、その能力を最大限に発揮することのできる社会・地域をめざすことが大切です。そして、全ての人が、職場で、学校で、地域で、家庭で、各々の個性と能力を発揮できる一人ひとりの取り組みが必要となります。

こうしたなか、地域や企業・団体等において男女共同参画を進めるため、各地区自治振興会等から、男女共同参画推進会議委員を委嘱し、各活動に取り組んでいただいています。

今年度、第1回推進会議は、7月24日に開催されました。本年は、任期2年の改選にあたりますので、各委員に委嘱状が交付されました。初めに、事務局から令和6年度の越前市男女共同参画プランの数値目標の実績報告があり、その後、「ジェンダーの社会学」と題して、仁愛大学の織田暁子准教授の講義を拝聴しました。

男女共同参画のベースは、地域社会です。男女共同参画を推進するため、引き続きのご協力をお願いいたします。